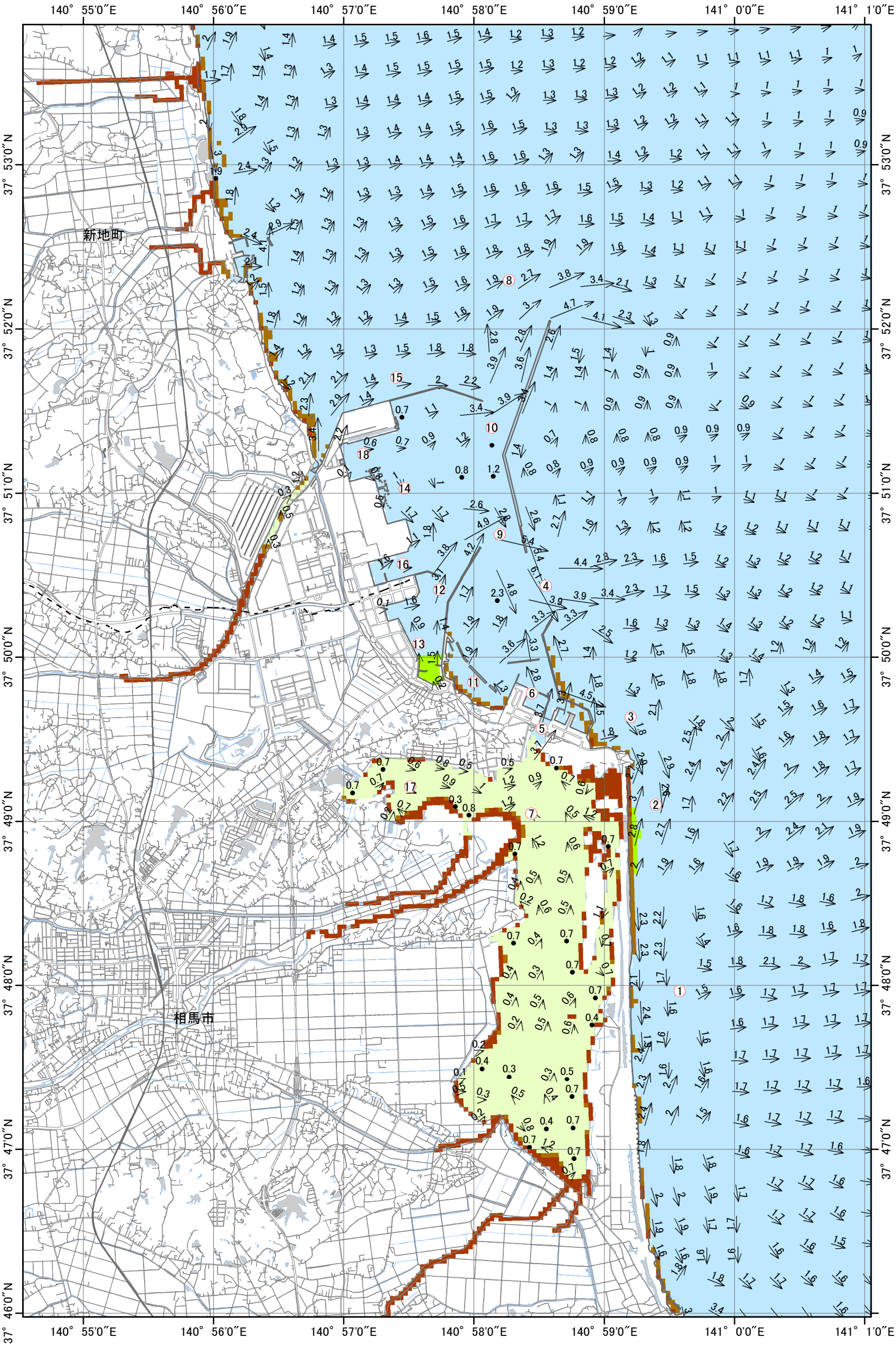




計算条件： 最低水面（零位）
 隆起量： 平均 -0.01m
 Z₀： 0.88m
 備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

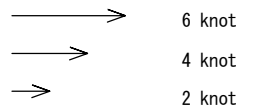
座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)



凡例

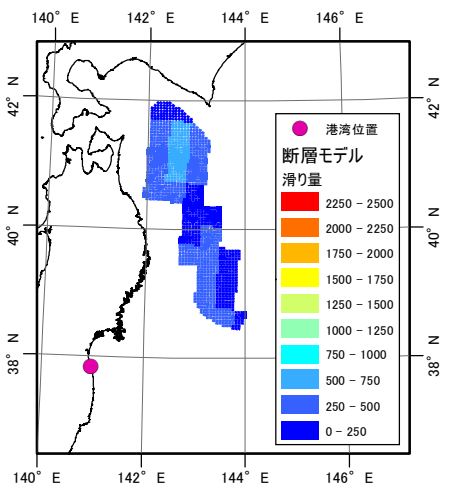
- 最大水位低下
 - 2~最大2.2m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
- 干出域
- 露出域
- 経時変化図出力点
 (図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

引潮時最大流 [knot]



- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

断層モデル



三陸沖北部地震

モーメントマグニチュード Mw	8.4
-----------------	-----

本断層モデルは、内閣府の「首都直下地震モデル検討会」(平成25年12月19日発表)により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基礎地図情報5mメッシュ (標高)・10mメッシュ (標高)、及び基礎地図情報 (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平31情使、第30号 平成31年4月5日)